

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表
 (4条:サプレッションチェンバ内部水質量の考え方の変更について)

No.	項目	審査 会合日	対応状況	回答
1	サプレッションチェンバの耐震設計の全体像を整理した上で、今回実施している評価の妥当性を提示すること。	H30.6.7	本日回答	既工認からの変更点及び目的を踏まえ、各変更点に対する検討内容、検討結果及び耐震設計への配慮事項について整理し、今回実施している評価の妥当性を確認した。 (資料 1-2)
2	内部水の有効質量を適用して地震荷重を設定するにあたり、今回実施した振動試験や解析と、実機との相違をどのように設計へ反映するのか、整理して提示すること。	H30.6.7	本日回答	各段階で検討に用いた解析モデルと実機との相違を整理し、この相違に対する設計への配慮事項について整理した。 (資料 1-2)
3	振動試験に用いている水が常温であることの妥当性を実機における水温との関係等も踏まえて整理して提示すること。	H30.6.7	本日回答	振動試験に用いている水が常温であることの妥当性を実機における水温との関係等も踏まえて整理した。 (資料 1-2)
4	サプレッションチェンバに地震荷重として作用する有効質量は均一でないことを踏まえ、サプレッションチェンバ各部の地震荷重を算出するのに適した地震応答解析モデルとなっているか整理して提示すること。	H30.6.7	本日回答	内部水による流体圧力の観点、容器設計における配慮(強め輪)を踏まえ、3次元はりモデルを用いることは妥当であることを確認した。 (資料 1-2)
5	スロッシングによる内部構造物の影響について、水平2方向の地震入力による影響も含めた評価を提示すること。	H30.6.7	本日回答	水平2方向の地震入力による影響も含めた評価を行い、設計基準事故に想定される水力学的動荷重と同程度であることを確認した。 (資料 1-2)
6	Nastran と OpenFOAM の有効質量の算出結果について、縮小体モデルと実機モデルにおける解析結果の比率に差異があることの要因を提示すること。	H30.6.7	本日回答	NASTRAN による試験(試験体解析モデル)及び実機(実機解析モデル)による有効質量比の差が内部構造物(強め輪)の影響であることを確認した。 (資料 1-3 P 4 条-別紙 4-23 5.1.3 解析結果)